



WAKABATO  
 発行所  
 高知県立高知小津高等学校  
 総務部・PTA事務局  
 〒780-0916  
 高知市城北町1-14  
 TEL 088-822-5270  
 FAX 088-823-6387

「1・2学期をふりかえって」



教頭 森岡 修身

四月に新一年生を迎え、令和三年度がスタートしてから、早八ヶ月余りが経ち、今年もあと十日ほどを残すのみとなりました。令和三年度も、マスクの着用、換気、手洗い、手指の消毒、昼食時の黙食など、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながらの学校生活を送ることとなりました。

昨年度の四月当初は、新型コロナウイルス感染拡大のため、臨時休校等の対応となりましたが、本年度は、四月七日に始業式・入学式を行い、新年度の学校生活を予定通りスタートすることができました。さらに、四月二十八日には、昨年度は実施できなかった「ホームマッッチ」を春野総合運動公園で実施することができ、それぞれの競技やクラスの応援に全力で取り組み、

生徒・教員ともに充実した一日となりました。また、今年度から、休日や緊急時の学校からの連絡方法として、生徒に対しては「グループ・ワークスペース」が、保護者に対しては「すぐる」の運用が開始されました。これにより、感染状況に対する学校の対応や、大雨・台風等への対応などをより早くお伝えすることができるようになりました。また、「すぐる」は、保護者からの欠席や遅刻の連絡手段としてもご利用いただいています。今後も、情報伝達手段の一つとして有効活用していきたいと思えます。

えでの参加となりましたが、選手全員が日頃の練習の成果を発揮し、団体・個人ともに多くの生徒が上位入賞を成し遂げ、全国大会・四国大会への出場権を獲得しました。六月には、課題研究のクラス報告会が開かれ、これまでの取り組み状況と今後の取り組みの方向性について検討しました。さらに、七月二十四日には、三年生理数科の課題研究発表会が行われ、グループごとに三年間取り組んできた成果を発表し、参加者から多くの意見やコメントをいただきました。

八月後半の新型コロナウイルス感染拡大の第五波により、夏期休業中の補習や土曜補習が中止になったり、二期始業式の翌日から始業時間を一時間遅らせたりするなど、学校生活・学校行事等の変更や見直しを迫られる事態となりました。九月に予定していた若鳩祭については、十月以降に延期となり、十一月十日(水)に一日日程でしたが開催することができました。校外からの参加はやむなくお断りする形となりましたが、各文化部による日頃の取り組みの展示・発表と、各ホームによる工夫

を凝らした展示・発表が行われ、生徒たちにとって思い出に残る一日となりました。ミニ体育祭については、生徒の感染防止を最優先に考え、残念ながら中止することとなりました。生徒・保護者の皆様にとっては楽しみにされていた行事だとは思いますが、ご理解いただければと思います。また、十月に予定していた遠足についても、九月末時点で県内外の感染状況をふまえ、中止との判断を行いました。ただ、その後の感染状況が落ち着いてきたこともあり、代替行事として、三年生は十月二十九日に、一・二年生は十二月十六日にそれぞれホームデーや球技大会を行うことができました。この他にも、十月に体育館で聴く予定の講演等が、各教室でのリモート視聴になるなど、新型コロナウイルスの感染状況による行事等の変更が相次ぐなか、生徒の皆さんは柔軟に対応してくれました。生徒・保護者の皆さんにあらためて感謝申し上げます。

三年生にとっては、大学入学共通テストまであと一ヶ月となりました。今までの自分の取り組みを信じ、最後まであきらめることなく持つ力を出し切ってください。それと、受験は体力勝負です。食事・睡眠をしっかりとり、万全の体調で臨みましょう。一・二年生も受験への心構えや毎日の家庭学習はできていますか。なかなかやる気が起らないという人もいるのではないのでしょうか。受験勉強は筋トレと同じと聞いたことがあります。最初からいろんなメニューを計画してやってみても長続きしません。料理中のつま先立ちや、歯磨き中のスクワットなど、毎日続けられそうなどころから少しずつ始めてみる。やっているうちにちよつとつ成果が出始めると、他のところも鍛えてみたくなり、少しずつやる気が起こるそうです。受験勉強も、まずは得意な教科、好きな教科から始め、毎日続けてみましょう。きっと変化や成果を感じ、だんだんとやる気も湧いてくると思います。みなさんのこれからの頑張りに期待しています。

最後になりますが、今後とも、本校の教育活動に對するご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

- 第95号若鳩
- ・ 1・2学期をふりかえって
  - ・ 部活動 活躍の記録
  - ・ PTA活動報告
  - ・ 図書部 読み聞かせ
  - ・ ホームデー
  - ・ 英語スピーチコンテスト
  - ・ 若鳩祭
  - ・ SSH活動状況報告
  - ・ LH講演会
  - ・ カウンセラーだより
  - ・ 進路指導部より
  - ・ 後期生徒会役員決定 など

# 活躍の記録

## 《将棋囲碁部》

◆第45回全国高等学校総合文化祭2021わかやま

総文

○男子個人戦

出場

澤村 理貴 (3-3 H)

## 《地学部》

◆日本地球惑星科学連合2021年大会

○パブリックセッション

「高校生によるポスター発表」

努力賞

和氣 天 (3-4 H)

中尾 俊介 (3-7 H)

◆第45回全国高等学校総合文化祭2021わかやま

総文

○自然科学部門

出場

和氣 天 (3-4 H)

中尾 俊介 (3-7 H)

## 《新聞部》

◆第45回全国高等学校総合文化祭2021わかやま

総文

出場

岡村 波音 (3-1 H)

柳瀬 こあ (3-1 H)

吉岡 未琉 (3-1 H)

和田 拓真 (1-2 H)

## 《書道部》《書道選択者☆》

◆第45回全国高等学校総合文化祭2021わかやま

総文

出場

梅原 瑚白 (3-5 H)

濱田 三葵 (3-6 H)

◆第50回全国高校書道展

特選

石元 萌愛 (1-4 H)

☆濱崎ひまわり (1-6 H)

◆第55回記念高野山競書大会

高野山管長賞

岡本 彩 (3-5 H)

審査委員長賞

萩野 真夕 (3-4 H)

南山賞

萩野日菜子 (3-4 H)

毛利 恋花 (3-5 H)

高野山書道協会賞

◆第18回安芸全国書展高校生大会

書道美術館賞

萩野 真夕 (3-4 H)

優秀賞

萩野日菜子 (3-4 H)

梅原 瑚白 (3-5 H)

入選

岡本 彩 (3-5 H)

毛利 恋花 (3-5 H)

大前 実来 (3-6 H)

濱田 三葵 (3-6 H)

大地ちひろ (2-4 H)

川下 陽菜 (2-5 H)

保木 円香 (1-5 H)

石川 結理 (1-6 H)

## ◆第22回高校生国際美術展

書の部

秀作賞

大前 実来 (3-6 H)

萩野 真夕 (3-4 H)

古澤 朱夏 (1-5 H)

◆第32回中岡迂山記念全国書展

高知県教育長賞

岡本 彩 (3-5 H)

迂山奨励賞

大地ちひろ (2-4 H)

北村 芽生 (1-5 H)

保木 円香 (1-5 H)

褒状

萩野 真夕 (3-4 H)

石川 結理 (1-6 H)

## 《美術部》

◆2021年度若鳩祭

ポスター

採用

谷口 雨記 (1-1 H)

◆2021年度若鳩祭

パンフレット表紙

採用

山崎 太紘 (1-6 H)

◆第44回高知県高等学校総合文化祭ポスター

佳作

山口 心響 (1-1 H)

林 慶太 (1-6 H)

## 《吹奏楽部》

◆第50回高知県教育文化祭(2021) 高知県吹奏楽コンクール

○高等学校B部門

銀賞

前田 隼弥 (3-6 H)

北村 優 (2-2 H)

伊藤 愛唯 (2-3 H)

宮本 智貴 (2-4 H)

岡部 彩花 (2-5 H)

前田 悠貴 (2-5 H)

笹 朝晴 (2-6 H)

中山 華望 (2-7 H)

石元 愛未 (1-1 H)

山本 心美 (1-1 H)

明石 莉子 (1-2 H)

森岡 優 (1-2 H)

岩本 太一 (1-3 H)

坂本 葵 (1-5 H)

下村ひなき (1-5 H)

水野 華帆 (1-5 H)

## 《男女陸上競技部》

◆第51回高知県高等学校新人陸上競技対校選手権大会

○男子400m

優勝

小田桐成樹 (2-1 H)

第3位

松井 翔琉 (2-5 H)

○男子800m

第2位

橋詰 暁伸 (1-2 H)

第6位

西岡 宏祐 (2-7 H)

第7位

國澤 朋希 (2-5 H)

○男子5000m

第7位

島村啓太郎 (2-4 H)

○男子1100mハードル

第2位

橋本修乃介 (2-4 H)

○男子400mハードル

第2位

井上 桜雅 (2-6 H)

第4位

弘瀬 蒼真 (2-4 H)

第7位

岡村 漣 (1-1 H)

○男子3000m障害

第7位

小松 柊斗 (2-4 H)

第8位

山本 健斗 (1-6 H)

○男子4×400mリレー

第3位

小田桐成樹 (2-1 H)

弘瀬 蒼真 (2-4 H)

松井 翔琉 (2-5 H)

井上 桜雅 (2-6 H)



## 《フォークソング部》

◆第21回高知県高等学校軽音楽演奏会軽音楽

審査員特別賞

Nanacy

中山 恵太 (2-2 H)

田村 優佳 (2-3 H)

橋田 侑美 (2-3 H)

山下亜衣莉 (2-3 H)



○男子走高跳

第2位

福井勝二朗 (2-4 H)

○女子1000m

第3位

武田のどか (2-2 H)

○女子2000m

第3位

武田のどか (2-2 H)

○女子8000m

優勝

下總 彩夏 (1-1 H)

第3位

岩下 陽海 (1-7 H)

第7位

円山 美杜 (2-3 H)

○女子15000m

優勝

下總 彩夏 (1-1 H)

第6位

岩下 陽海 (1-7 H)

○女子30000m

第5位

円山 美杜 (2-3 H)

第7位

中村 郁美 (2-2 H)

○女子4×4000mリレー

優勝

下總 彩夏 (1-1 H)

岩下 陽海 (1-7 H)

尾崎 蓮花 (2-2 H)

武田のどか (2-2 H)

○女子砲丸投げ

第5位

高田 和花 (2-2 H)

第3位

安並 未来 (1-1 H)

○女子円盤投げ

第5位

高田 和花 (2-2 H)

第6位

安並 未来 (1-1 H)

○学校対抗得点

男子トラックの部

第2位 58点

男子フィールドの部

第7位 11点

男子総合の部

第4位 69点

女子トラックの部

第2位 55点

女子フィールドの部

第7位 19点

女子総合の部

第3位 74点

男女総合の部

第3位 143点

◆第23回四国高等学校新人陸上競技大会

男子8000m

第5位

橋詰 暁伸 (1-2 H)

男子走高跳

第6位

福井勝二朗 (2-4 H)

男子4×4000mリレー

第7位

橋詰 暁伸 (1-2 H)

小田桐成樹 (2-1 H)

弘瀬 蒼真 (2-4 H)

○女子8000m

第2位

下總 彩夏 (1-1 H)

○女子やり投げ

第4位

安並 未来 (1-1 H)

◆令和3年度全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会

○女子1000m出場

小白方莉央 (3-3 H)

○女子2000m出場

小白方莉央 (3-3 H)

○女子8000m出場

下總 彩夏 (1-1 H)

○女子4×4000mリレー

下總 彩夏 (1-1 H)

武田のどか (2-2 H)

小白方莉央 (3-3 H)

高橋愛理沙 (3-3 H)

下總 彩夏 (1-1 H)

武田のどか (2-2 H)

小白方莉央 (3-3 H)

高橋愛理沙 (3-3 H)

下總 彩夏 (1-1 H)

武田のどか (2-2 H)

小白方莉央 (3-3 H)

高橋愛理沙 (3-3 H)

下總 彩夏 (1-1 H)

武田のどか (2-2 H)

小白方莉央 (3-3 H)

高橋愛理沙 (3-3 H)

下總 彩夏 (1-1 H)

武田のどか (2-2 H)

小白方莉央 (3-3 H)

高橋愛理沙 (3-3 H)

下總 彩夏 (1-1 H)

武田のどか (2-2 H)

小白方莉央 (3-3 H)

高橋愛理沙 (3-3 H)

下總 彩夏 (1-1 H)

武田のどか (2-2 H)

小白方莉央 (3-3 H)

高橋愛理沙 (3-3 H)

下總 彩夏 (1-1 H)

武田のどか (2-2 H)

◆令和3年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会・全日本高等学校ソフトテニス選手権大会

伊藤 彬人 (2-5 H)

藤川 幸明 (2-5 H)

二俣 朔也 (1-3 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

高橋 大地 (3-4 H)

西内 友規 (3-4 H)

武田 童雅 (3-6 H)

藤川 幸明 (2-5 H)

二俣 朔也 (1-3 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

◆令和3年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会・全日本高等学校ソフトテニス選手権大会

伊藤 彬人 (2-5 H)

藤川 幸明 (2-5 H)

二俣 朔也 (1-3 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

高橋 大地 (3-4 H)

西内 友規 (3-4 H)

武田 童雅 (3-6 H)

藤川 幸明 (2-5 H)

二俣 朔也 (1-3 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

○男子個人戦

吉川 輝 (3-2 H)

武田 童雅 (3-6 H)

《男子ソフトテニス部》

◆第71回四国高等学校ソフトテニス選手権大会

トテニス選手権大会

男子団体戦

出場

吉川 輝 (3-2 H)

高橋 大地 (3-4 H)

西内 友規 (3-4 H)

坂本 紫音 (3-6 H)

武田 童雅 (3-6 H)



《女子ソフトテニス部》

◆第71回四国高等学校ソフトテニス選手権大会

トテニス選手権大会

女子個人戦

出場

福留ほのか (3-4 H)

中岡 莉菜 (3-6 H)

中田美香子 (2-4 H)

好永 涼乃 (2-6 H)

◆第50回ゴーセン杯争奪ハイスカールジャパンカップソフトテニス2021

女子シングルス

出場

中岡 莉菜 (3-6 H)



《男女卓球部》

◆令和3年度全国高等学校卓球選手権大会四国ブロック選考会

男子団体

出場

岡本 航陽 (3-2 H)

小松 研汰 (3-6 H)

廣瀬 優真 (3-6 H)

松本 優希 (3-6 H)

倉内 丈虎 (2-2 H)

平山 高大 (2-4 H)

濱田 尚人 (1-4 H)



◆第74回四国高等学校卓球選手権大会

○男子団体  
出場

- 岡本 航陽 (3-2 H)
- 小松 研汰 (3-6 H)
- 廣瀬 優真 (3-6 H)
- 松本 優希 (3-6 H)
- 倉内 丈虎 (2-2 H)
- 平山 高大 (2-4 H)
- 濱田 尚人 (1-4 H)

○男子ダブルス  
出場

- 近藤 和也 (3-4 H)
- 小松 研汰 (3-6 H)

○女子団体  
出場

- 寺岡 蘭 (3-1 H)
- 泉谷 遙佳 (3-3 H)
- 久保 和可 (3-3 H)
- 藤本 そら (2-2 H)
- 原山 そら (2-4 H)
- 常石 実里 (1-2 H)

◆令和3年度高知県高等学校夏季卓球大会

○男子団体  
第3位

- 榎嶋 直樹 (2-2 H)
- 倉内 丈虎 (2-2 H)
- 平山 高大 (2-4 H)
- 濱田 尚人 (1-4 H)

武内 颯音 (1-5 H)  
吉岡 優 (1-6 H)

○男子ダブルス  
第3位

- 濱田 尚人 (1-4 H)
- 武内 颯音 (1-5 H)

○女子ダブルス  
ベスト8

- 藤本 そら (2-2 H)
- 原山 そら (2-4 H)

◆令和3年度全日本卓球選手権大会県予選会(ジュニアの部)

○男子シングルス  
ベスト8

- 濱田 尚人 (1-4 H)

《サッカー部》

◆第100回全国高校サッカー選手権大会高知県大会  
ベスト8

- 池 堪太 (3-1 H)
- 田中 優樹 (3-2 H)
- 山口孔太郎 (3-6 H)
- 黄 敬鎮 (2-1 H)
- 津野 杉河 (2-1 H)
- 寺山 涼太 (2-1 H)
- 岩崎 元哉 (2-3 H)
- 福井 奏多 (2-3 H)
- 江西 大海 (2-4 H)
- 河崎 翔大 (2-4 H)
- 阿部翔汰郎 (2-5 H)
- 北村 俊介 (2-5 H)
- 横山 陽輝 (2-5 H)
- 中平 舜也 (2-6 H)
- 松岡 拓海 (2-6 H)
- 常川 陽功 (2-7 H)

田内琥南武 (1-1 H)  
前田 真蔵 (1-1 H)  
瀧田 純 (1-2 H)  
和下田隆典 (1-3 H)  
齋田 海里 (1-4 H)  
木場 俊志 (1-5 H)  
山本 憧 (1-5 H)  
濱田 秀哉 (1-6 H)  
久岡 叶汰 (1-7 H)



《男子弓道部》

◆第62回四国高等学校弓道選手権大会

○男子個人  
出場

- 半田 匠 (3-5 H)

○男子団体  
出場

- 佐井 健竜 (3-3 H)
- 半田 匠 (3-5 H)
- 中山 倅吾 (3-6 H)
- 山崎 雄貴 (3-6 H)
- 岡本 周 (3-7 H)
- 猪野 泰成 (2-6 H)
- 佐竹こてつ (2-6 H)

《水泳同好会》

◆第74回高知県高等学校体育大会 水泳の部

○競泳競技  
男子200m背泳ぎ  
第2位(四国大会出場)

平尾 陸 (3-4 H)

○競泳競技  
男子100m背泳ぎ  
第2位(四国大会出場)

平尾 陸 (3-4 H)

○男子学校対抗  
3位

- 山本 絢士 (3-5 H)
- 尾崎 勇飛 (1-1 H)
- 尾崎 史龍 (1-4 H)

○男子個人フルール  
ベスト8

- 尾崎 勇飛 (1-1 H)
- 尾崎 史龍 (1-4 H)

○男子個人対抗サーブル  
3位

- 山本 絢士 (3-5 H)

◆令和3年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会

○男子個人対抗サーブル  
6位  
山本 絢士 (3-5 H)

《空手道》

◆第29回四国高等学校空手道選手権大会

○女子個人組手  
出場

- 壬生 琴賀 (3-7 H)

○女子個人組手  
出場

- 壬生 琴賀 (3-7 H)

○女子個人形  
出場

- 壬生 琴賀 (3-7 H)



《英語弁論大会》

◆第74回高知県中学校英語弁論大会  
(高等学校の部)

○即興部門  
高知工科大学学長賞  
Excellent Speaker賞  
大西 昂樹 (2-7 H)



# PTAの活動報告

## 学校探検ツアー (PTA一年学年委員会)

十月十六日(土)、本校にて一学年保護者を対象に「学校探検ツアー&部活動見学」が催されました。三十名程度の保護者が来校し、本校教員の案内で校内施設の見学を行いました。

当日は、生徒たちの教室のない、西館や芸術棟を中心にツアーを行い、生徒たちが授業で作成した成果物に目を留めたり、芸術棟で活動している生徒の様子を参観したりしました。学校探検ツアー後には、部活動を自由に見学する時間を設け、体育館やグラウンド、弓道場などの様子も見に行きました。



## 桂浜水族館見学 (PTA研修委員会)

十一月三日(水)、PTA研修委員会主催の桂浜水族館見学行事が行われ、生徒と生徒の保護者・ご家族が十九名、そして本校教員が数名参加しました。

まず、桂浜水族館の職員の方に館内についての説明を受けた後、自由に館内を見学して回りました。天候にも恵まれ、有意義な時間を過ごすことができました。



## 進路説明会・修学旅行説明会 (PTA二年学年委員会)

十月三十日(土)、二学年保護者対象の「進路説明会・修学旅行説明会」を本校にて行いました。百四十六名の二年生の保護者の方が参加されたため、二会場に分けて説明会を行いました。

「進路説明会」では、本校の進路指導部長より大学入試制度や共通テスト、進路選択の留意点について説明を行いました。主に国公立大学の入試の種類やスケジュール、推薦者の校内選考の流れなどについて、事前に保護者の方からいただいた質問に答えるかたちで会が進行していきました。活動報告書を求める大学等が増加していることから、高校生活にて様々な活動を行うておいた方が良く、といった具体的な対策などについても説明がありました。

「修学旅行説明会」も、事前に保護者の方からいただいていた質問に答えるかたちで行われました。修学旅行における学校側の対応については学年主任から説明をし、旅行についての詳しい説明や新型コロナウイルス対策(食事の仕方や陽性者が出た場合の対応など)についての説明は担当のJTBの方に行っていたいただきました。全国的に感染状況が落ち着き、無事に修学旅行に行くことができるよう願って已みません。



# 読み聞かせ講習会を行いました。

昨年度・今年度と、コロナ禍の影響で、保育園読み聞かせ実習を行うことができませんでした。本来ならば十五回目を迎えているはずでした。せつかくの伝統を途絶えさせては勿体ないと、今年は、校内の読み聞かせ講習会だけでもできないかと模索しました。そして無事、三年生の保育士志望者三名と、図書部員十一名とで行うことができました。

夏休みに入っすぐの七月二十日(火)、「えほんの店 コッコ・サン」の店長・森本様をお招きし、約二時間の講習をしていただきました。開始前はやや緊張のムードが漂っていましたが、一つ、二つと活動に参加するうちに体も表情もほぐれ、笑顔が広がっていきました。全員がとても熱心に参加し、学んだことを自身に取り入れようとすると熱意が感じられました。そこで、それを生かす実践の場として、「読み聞かせ実践発表会」を企画しました。三、四名で構成する四つの班に分かれ、

八月十七日(火)の当日までに各班で練習を重ねました。当日、絵本の班も紙芝居の班もそれぞれ工夫を凝らした発表ができ、聞いている側も楽しんでる様子が伝わってきました。

## 【講習会に参加した生徒の感想から】

・あつという間に時間が過ぎました。子どもに読んであげるときは、一緒に楽しむことが大切だと感じました。コッコ・サンが、絵本のことを「読む」じゃなくて「遊ぶ」と表現されているのを聞いて、絵本は「読み聞かせ」と言うけれど、遊びの一つなんだという風に感じました。

(三年生女子)

・絵本は、幼い子どもたちのための物だと思っていましたが、高校生や大人でも十分に楽しめる、コミュニケーション手段の一つになるという新たな発見がありました。絵本は、子どももの頃に読んでも、大人になってもずっと覚えているような、

強く心に残るものであり、そこからまた次の世代にも受け継がれていく、未来の力も持っているものだと思います。

(二年生女子)

・久しぶりに絵本と触れ合う機会だったので、面白かったです。昔のことを思い出してほっこりする場面もあれば、ためになるようなお話を聞くこともできて、沢山のことを考えさせられました。絵本の読み方だけでなく、人との接し方など、学ぶことが多い、自分の将来のことを考える上ですごく良い経験のできた講習でした。

(三年生男子)

・コッコ・サンのお話を聞いていて、そういえば昔、父や母の膝の上で、体を動かしたり歌ったりしながら、楽しく本を読んでもらったなあと思います。絵本の内容も印象に残っていますが、その時の情景や、誰が読んでくれたか、どんなことを言っていたかの方が、強く思い出されました。

(二年生女子)

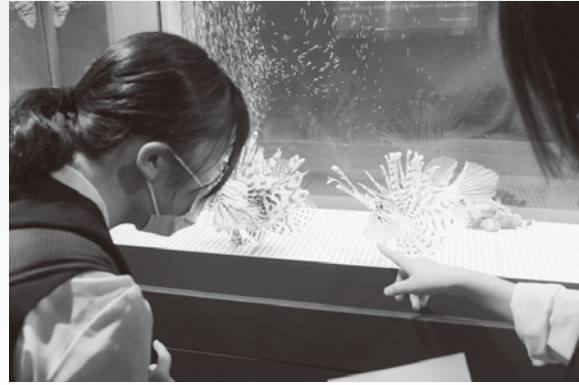




## ホームデーを行いました！（3年生）

10月22日(金)に予定されていた、1～3年生がホームごとに行く遠足が今年度も中止になりました。9月時点での県内外の感染状況を鑑みた結果でした。しかし、10月に入ってから感染状況が好転したため、各学年で遠足の代替行事を考えることになりました。3年生は国立大学の推薦入試を始めとした受験を11月に控えている生徒が多かったため、10月29日(金)にホームデー（遠足）を行いました。行き先は県内のみという制限はあるものの、ホームごとに行き先を決め、晴天の中、バスで出かけていきました。室戸市の「廃校水族館」や土佐清水市の「足摺海洋館」など高知県の端まで出かけたクラスもあれば、香南市まで行き、「ヤ・シィパーク」で遊んだり体育館を借りて体を動かしたりするクラスもありました。3年生にとっては高校生活最後の行事となりました。良い思い出になったのではないかと思います。

1、2年生も代替となる行事を12月16日(木)に行いました。1年生は3年生と同様にホームデーを行い、2年生は校内で球技大会を行いました。1、2年生の学年行事の様子は次号で紹介します。



## ◆ 令和3年度 校内英語スピーチ・プレゼンテーションコンテスト ◆

10月18日放課後、校内英語スピーチ・プレゼンテーションコンテストが行われ、各クラスの代表者、1年生13名、2年生7名が出場しました。1年生は、日本文化についてパワーポイントを用いたプレゼンテーション、2年生は聞き手に行動変容を促すスピーチを行いました。



### 【プレゼンテーションの部（1年生）】

- 第1位 荒木 千晶（1-3H）
- 第2位 坂本 葵（1-5H）
- 第3位 山崎 菜音（1-1H）

### 【スピーチの部（2年生）】

- 第1位 大西 昂樹（2-7H）
- 第2位 長井こと美（2-6H）



# 若鳩祭

新型コロナウイルスへの感染防止のため、9月から延期されていた若鳩祭が11月10日(水)に開催されました。残念ながら、本年度の文化祭は1日のみの日程に短縮され、保護者の方などの外部の方は入れず、校内のみでの開催となりました。放送にて開会式を行った後、各団体の出し物が始まりました。感染防止の対策をとるためにたくさんの制限がありましたが、各クラブの発表や、各ホームの催しは大変にぎやかなものとなりました。

## コンサート

音楽部



吹奏楽部



コーソング部



Jコドメイド部



ピンワークの展示

美術部



絵の展示

英語部



クイズ大会

生物部



制作物の販売



SSSHの取り組み掲示板

科学部



射的

写真部



写真の展示

図書部



切絵の展示

漫画研究部



お絵描きコーナー



書道部



演劇部



華道部



新聞部



茶道部

ダンスの発表



学校にカジノ!?



山あり谷あり人生ゲーム!



フォトスポットもたくさん!!







### SSHI 二学期までの活動状況報告

SSHI担当より

第四期SSH指定最終年にあたる令和三年度も、四分の三が終わろうとしています。今年度も、新型コロナウイルスの影響で、SSH事業も一部規模を縮小して行わざるを得ませんでしたが、七月から二学期末にかけて、感染防止対策を講じながら、理数系人材育成に向けたSSH活動を実施してきました。その活動の様子をご紹介します。

#### 令和三年度 SSH成果報告会

七月二十四日(土)、本校研修室にて本年度のSSH成果報告会を行いました。



SSH成果報告会の様子

今年度も、参加者を本校SSH運営指導委員、高知県教育委員会、こうちフィードバック協会、本校理数科の保護者に限定して会を実施しました。

SSH成果報告では、まず研究主任が「SSH事業の活動内容と成果」の説明を行いました。その後、普通科の福岡さん、理数科の島津くん、門田さん、中嶋さん、卒業生の茶島くんが、SSH活動を通して、感じたことや身についたこと、進学後の学びに生かされたことなどを発表してくれました。特に、卒業生の茶島くんからは、SSH事業を通して身につけた科学的センスが進学後に役立つことなどの説明があり、ご来場の方々に大変好評で、お褒めの言葉を多くいただきました。

#### SSH課題研究活動

七月二日(金)に三年生普通科課題研究学年発表会が行われました。

クラス発表会で選出された、各クラス代表者6名が、「研究背景、研究目的・意義、研究方法」、「結果」、「考察」などについて、スライドなども活用して発表を通して十分な情報共有がなされたことと思います。また、ご出席いただいた本

校のSSH運営指導委員の皆様から、クラス代表生徒に対して、直接多くのアドバイスをいただきました。この貴重な経験を高校卒業後、大学や社会人になってから、さらに研究を続けていく機会があればと期待するところでした。



クラス代表者の発表の様子

#### 理数科SSH課題研究発表会

七月二十四日(土)、本校研修室にて理数科SSH課題研究発表会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、今年度は、ハイブリッド形式での発表会を実施しました。発表生徒と二年生及び来賓、保護者の方々は会場で発表を聞き、一年生と県内関係者はオンラインで発表を聞きま

し。また、連携校である京都府立桃山高等学校グロイバルサイエンス部にもオンラインで発表に参加いただきました。

昨年度からの新型コロナウイルスの影響もあり、どのチームも研究が思うように進まない時期がありましたが、チーム内で協力し合っ

て研究に取り組み姿が見られ、とても頼もしく感じられました。

四国地区SSH生徒研究発表会やPTA総会でのポスター発表を通して研究のブラッシュアップを図り、各チームがこの発表会に向けて入念に準備してきました。その甲斐もあり、堂々と研究の成果を発表することができました。普通科と同様に、この貴重な経験を今後の活躍に繋げてもらいたいと期待します。



研究発表の様子

#### 理数科SSH生徒研究発表大会

(兵庫県神戸国際展示場) 八月五日(木)に、SSH生徒研究発表大会が開催されました。同大会には全国の

SSH指定校から生徒や教育関係者が集まりました。本校からは、「光の強さはプラナリアの記憶継承に影響を及ぼすのか」(生物分野)の二名が参加し、ポスター発表を行いました。

感染対策がされた会場でポスター発表を行い、専門家の方々からの鋭い質問に、悪戦苦闘しながらではありましたが丁寧に応答していました。また、全国各地の高校生と交流を深めることもでき、充実した時間を過ごすことができました。



SSH生徒研究発表大会の様子

#### 中高生のためのかはく科学研究プレゼンテーション大会

(愛媛県総合科学博物館オンライン) 八月八日(日)に、第七回中高生のためのかはく科学研究プレゼンテーション大会が、オンラインで開催されました。



本校からは、「光の強さはプラナリアの記憶継承に影響を及ぼすのか」(生物分野)が参加しました。昨年度から、多くの発表会がオンライン開催となりましたが、新しい交流や発表の仕方などを高校卒業後に生かせるように、この経験を大事にしてもらいたいと思います。

◆第二十三回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会

(福岡大会オンライン開催)  
例年なら中国・四国・九州地区の理数科設置校の代表生徒が一堂に集い、課題研究の成果を発表する大会ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン開催という形に切り替わり、八月十八日(水)にWeb上で大会が開催されました。

今年の発表は、Web発表が十六題、誌面発表が六十題でした。本校からはWeb発表「フリーズドライ牛乳の実用性に向けた溶解特性に関する研究」(化学分野)、誌面発表「清涼飲料水と脱灰作用と唾液の保護効果」(化学分野)、「防波堤の形状と津波減衰について」(地学分野)、「モンテ・ホール問題の一般化」(数学分野)の計四題で参加しました。



Web発表を視聴する生徒

今回の大会は、事前に録画した発表動画を視聴する形式で行われたため、質疑応答がありませんでした。質疑応答を通して、研究への理解やその意義などが深まり、課題研究への達成感が得られてきたので、それがなかったというのは非常に残念でした。Withコロナにおける新しい発表形態を学ぶとともに、新たな課題も見えた一日となりました。

◆普通科 総合的な探究の時間

○探究基礎(一年)  
「持続可能な開発目標(SDGs)から考える高知の未来」

六月二十五日(金)、普通科一年生を対象として、高知大学次世代地域創造センターの講師 梶英樹様より、

「持続可能な開発目標(SDGs)から考える高知の未来」と題して講演をいただきました。講演では、「SDGsとは何か」、「SDGsの大事なポイント」、「SDGsを使うって高知県の地域課題を考える」、などについて、スライドを用い、具体的な事例を交えてお話しいただきました。ご講演を通して、SDGsを自分事として捉え、身近な課題に目を向けて、考えることが大切であること、また、目標達成に向けての取り組みのヒントなどを教えていただきました。



「持続可能な開発目標SDGs」講演の様子

「AI人工知能の発展と地域課題への応用」  
十月一日(金)、普通科一年生を対象として、高知工科大学情報学群教授 吉田真展と地域課題への応用」と

題して講演をいただきました。講演では「AIの歴史」、「ニューラルネットワーク」と「ディープラーニング」、「高知県におけるAI技術の応用例」などについて、スライドを用いてお話しただきました。AIを身近なものとして再認識し、AIと共存する今後の社会を想像して、自分たちに何ができるのか、何をすべきかを考えるきっかけとなりました。また、これから高知県の地域課題について研究していくための手がかりも得ることができました。



オンライン講演を聞く様子

◆若鳩祭で課題研究発表

十一月十日(水)に行われた若鳩祭では、文化的催しの一環として、普通科課題研究学会発表会で優秀賞を受賞した「Aiの可能性」(医療分野と防災分野の融合)と「高知県の児童・生徒の学力を更に向上させる

には？」および理数科課題研究発表会で最優秀賞を受賞した「フリーズドライ牛乳の実用性に向けた溶解特性に関する研究」の三題の発表を行いました。事前に撮影した動画を上映することで、感染症対策にも留意して実施しました。

◆ミニ課題研究(探究基礎)

一年生理数科の探究基礎の中で、ミニ課題研究に取り組みました。

一学期は、化学分野において、課題研究に必要な実験器具の扱い方を学ぶとともに、リサーチクエスチョンや仮説を立てて実験活動を行い、その成果を発表すること、課題研究の流れを体験しました。

二学期からは、物理・生物・化学・数学分野に分かれてミニ課題研究に取り組みしていきます。「なぜ」という疑問を大切に、探究活動を進めてもらいたいと思います。

◆理数科の課題研究

二学期からは二年生の課題研究活動が本格的に始まりました。現在、物理三・化学二・生物三・地学一・全九グループに分かれて活動を実施しています。

休み時間や放課後を使って教員に相談をしたり、実験に取り組んだり、各グループが頑張っている姿が見

られています。限られた時間の中で主体的に研究に取り組む経験によって「仮説・実験・考察・検証」の手順を習得し、将来的に日本を支える科学技術系人材に育ってほしいと思います。



課題研究に取り組む様子

●小津高教員の指導による、「OZUサイエンス」実習  
◆OZUサイエンス物理

十一月四日(木)に、理数科二年生が弦を伝わる波の速さの実験を行いました。物理基礎の教科書では「発展」の部分である、速さと張力、線密度の関係式を導くために、速さと張力の関係を調べる班と、速さと線密度の関係を調べる班に分かれ、実験データをとりグラフ化し、その情報を持ち寄って速さと張力と線密度の関係性を求めました。実験データをグラフ化し、そこから何が言えるのかを考察する経験は、課題研究でも活かされるのではない

かと期待しています。



実験の様子

●「短期集中体験ゼミ」  
◆物理実験体験ゼミ

七月二十五日(日)、および二十八日(水)の午後、本校生物実験室で、物理実験体験ゼミを実施しました。二十五日は七名、二十八日は八名の生徒が参加し、高知大学の加藤治一先生から超伝導の講義を受け、実験を行いました。例年は高知大学で二日間を通じての体験ゼミでしたが、昨年度と同じく、今年はコロナの影響のため、一日の日程で二回行われました。はじめに超伝導についての講義があり、実験のねらいや概要、理論などを確認しました。その後、二人から三人の班に分かれて、T Aの指導の下、体験実習に臨みました。試料を液体窒素で冷却し、超伝導体の性質を観察しました。磁石に対して完全反磁性を示し、超

伝導体が浮く様子が見られました。また液体窒素を用いた実験では空気中の酸素が冷やして液体になると水色になるのを確認しました。続いて超伝導体の温度を下げて電気抵抗が0になることを確かめる実験を行いました。



温度を下げ電気抵抗を測る実験

◆科学巡検体験ゼミ

理数科および普通科生徒七名が、ユネスコ室戸世界ジオパーク周辺においてフィールドワークを行いました。室戸岬周辺では隆起したタービダイトの砂泥互層の様子、貫入した斑レイ岩や磁鉄鉱、斜長石らがわかりやすく大きな結晶を形づくった鉱物の様子を観察できました。またポットル、塩類風化の痕をみつけ、その成因が海岸や室戸の隆起と関係していることを考察したり、やっこかんざしの

生痕化石、褶曲したタービダイト層などを観察し、その成因についても考察しました。また、室戸岬の展望台に行き、岬西側に形成された海成段丘、東側の急峻な断崖の地形の違いのダイナミックさを見ることになりました。室戸ジオパークセンターでは、津波の実験を行い、展示物から室戸の自然と人との関わりを考えました。



砂泥互層の形成過程の講義中

今回の巡検を通して、県東部の地形地質についてより理解を深めることができました。

●サイエンスフィールドワーク

◆瀬戸大橋にて、巨大建築物の見学実習

(理数科二年生)  
十一月五日(金)に、香川県にある瀬戸大橋記念館と与島P A内でサイエンスフイ

ールドワークを実施しました。記念館では、瀬戸大橋建設に至るまでの歴史や瀬戸大橋架橋工事の方法について、実際に使用した機械や実物模型などの展示を見て学びました。与島P Aでは瀬戸大橋を実際に見ながら、本州四国連絡高速道路の前田さんより、橋の概要やその管理・維持方法などを説明していただきました。そのあと、通常は入ることのできないアンカレッジ(高さ約九十m)内に入り、瀬戸大橋の建設手順についてパネルを使って説明していただきました。当初は一〇〇年維持することを想定して建設したそうですが、今では技術が進歩し二〇〇年維持できるよう点検や補修に努めていることを知りました。人々が安心して便利な生活を送れている背景に、そこで務めている方々のたゆまぬ努力から生み出された高い技術力があることを学ぶことができました。



与島P A内での研修の様子



●「科学英語」

(理科二年生)

二年生の科学英語は、「酵素」をテーマに英語でのプレゼンテーションに取り組みました。ALTのエマ先生による講義を聞いた後、グループで仮説を立て実験を計画しました。

酵素のはたらきを利用した小さなロケットの飛距離を調べたり、アミラーゼ(ジアスターゼ)が動物由来か植物由来かという目的を持って調べたり、楽しみながらも科学的な見方をもって酵素に関する実験を行いました。

英語でのプレゼンテーションでは、協力、分担して発表を行い、他の班の発表に対しては英語での質問にも挑戦しました。



英語での発表の様子

(理科三年生)

三年生の科学英語Ⅱでは、科学論文の要旨の読解を通して、要旨の書き方を学んできました。そして、これまでの科学英語の総仕上げとして、十一月十七日(水)に高知大学の外国人留学生や県内のALTの先生方に対して、オンラインで英語による課題研究のポスター発表を行いました。



発表会の様子

図表の表記の仕方、数式の読み方など、日本語では当たり前に行えることでも、英語で発表することは難しく、一苦労でした。英語のポスター作成や、発音練習、想定される質問への準備など、英語のポスター発表を前に一生懸命取り組む様子が見られました。

●その他

◆OZUチューター

「小学生のための科学実験講座」

八月一日(日)、小学生を対象とした実験講座「ホテルはなぜ光る? 警察は目で見えない血液をどうやって見つける? 化学発光の実験で確かめよう」と「科学部サイエンスショー(超低温実験)」を本校の生物実験室で行いました。小学生十七名に参加いただき、ケミカルライトやウミホタルを用いて、化学発光について体験的に学びました。本校の生徒がTA(ティーチング・アシスタント)として小学生の実験をサポートしました。化学発光をどのように説明すればよいのか、小学生からどのような疑問が飛び出してくるのかと、教える側の生徒自身も不安な気持ちがあったようですが、一生懸命かつ楽しそうに実験に取り組む小学生を指導していく中で、本校の生徒も次第に緊張がとけていったようでした。普段、小学生と接する機会が少ない生徒にとっては、貴重な経験を積むことができました。

小学生の皆さんには、様々な科学的現象に興味を持つきっかけにしてもらえればと思います。



ウミホタルを用いた化学発光実験の様子

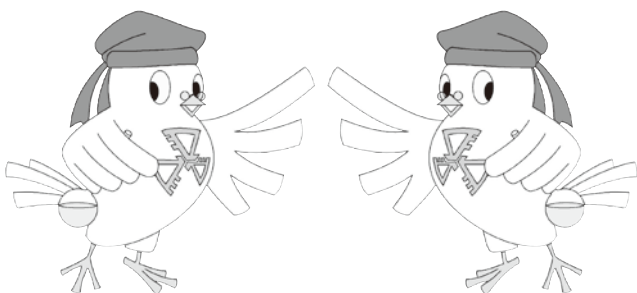
◆中学生の一日体験入学

十月二十六日(火)・二十七日(水)に、中学生の一日体験入学が行われました。本年度は理科二年生の課題研究授業を理数科希望の中学生に参観いただきました。物理・化学・生物・地学の各分野と課題研究発表会の様子を動画で見たいいただき、理科の取り組みについて理解を深めていただきました。化学分野では、二つのチームが交互に研究内容の紹介と実験装置などの説明を行いました。参加いただいた中学生や保護者の方々には伝わるように、丁寧に説明をしていました。課題研究発表を通じて身に付けた、相手に伝える表現方法などを実践する場面でした。



研究内容の説明を行う様子

\*SSH活動の様子は本校HPに掲載しています。





# 講演会

十月には一、二年生を対象とした様々な講演が行われました。残念ながら、ほとんどの講演は感染対策のため、講師の方のお話をZOOM越しに聞くかたちの講演会となりました。

十月十四日(木)五、六限に二年生を対象にして、人権教育講演が行われました。NPO法人カラフルブランケッツの大久保暁様に「性の多様性を知る、違いを認め合える社会は」という題でお話しいただきました。LGBTQの当事者である講師の方のお話を聞き、「自分らしい」とは何かを考えることができました。

十月十五日(金)五、六限に一年生を対象にして、性教育講話が行われました。高知医療センター 総合周産期母子医療センターの関正節先生に「自他を大切にするためのいのちの教室」という題で講演をしていただきました。「性」や「生」について様々な視点からお話しいただき、生徒らはかけがえのない「命」を大切にすることを考える必要について考えさせられました。

十月二十一日(木)五、六限に二年生を対象にして、進路講演が行われました。土佐塾予備校 シニア・アドバイザーの楠瀬英彦先生に「社会も大学も大きく変化するー高校卒業後の進路を取り巻く変化の方向ー」という題で講演をしていただきました。進路について大きく悩む時期である二年生の生徒たちに、最近の大学や入試の傾向などについてお話しいただきました。

十月二十九日(金)五、六限に実施された一年生の人権教育講演は、全国的に感染状況が落ち着き、県内の警戒レベルも最小となったため、体育館で行われました。講師に高知新聞社編集部 塚地和久様をお呼びし、「人権学習って何だ!?」という題でお話しいただきました。今回は対話形式の講演だったため、他の生徒とのやり取りや講師の先生のお話を通して、人と人との「つながり」について考えました。



# カウンセラー



スクールカウンセラー  
吉野 飛鳥

小津高校のみなさん、こんにちは。長かった二学期がようやく終わろうとしています。勉強に部活に行事にと忙しく過ごす様子を陰ながら応援させて頂きました。二学期もお疲れ様でした。そして、非日常の生活にやっと希望が見え始めました。今まで経験したことがない状況を見なさんほどのような工夫や知恵で乗り越えられたでしょうか。コロナ禍での生活においても、好きなことやそれに打ち込む時間がどれだけ私たちのエネルギーになっていいるかを感じる事が多々ありました。日常生活が戻ると言いますが、以前の状態が戻るのではなく、大変な時期を乗り越えて新しい生活が始まると言ったほうがいいのかもかもしれませんね。新たなスタートに何か始めてみませんか。きっとみなさんの心の栄養となつて日常を支えてくれると思います。まずは二学期を乗り越えた自分を褒め、楽しい冬休みをお過ごし下さい。

## 【利用方法】

- 日時：水曜日（10：00～17：30）
- 場所：西館4階カウンセリング室
- 予約：ホーム主任、教育相談部、養護教諭の先生方を通じて予約をお願いします。（空いていれば予約なしでも利用できます）
- 面接時間：30～50分程度

# 最後まで諦めずに努力を！

進路指導部

今年も残すところはや二週間となりました。一月十五日(土)、十六日(日)には大学入学共通テスト(以下、共通テスト)が実施され、大学入試も本番を迎えます。本年度、本校からは二六八名の生徒が共通テストに出願しています。先週末には共通テスト本番と同様の日程で予行演習を行い、いよいよ仕上げの時期となりました。全国でも約五十万人以上の受験生が出願し、目前に迫った試験に向けて追い込みをかけています。体調管理に努めながら、最後の最後まで全力を尽くして頑張ってください。

さて、初実施となった昨年度の共通テストは、平均点が前年の大学入試センター試験(以下、センター試験)よりも上昇しています。センター試験が導入されたときも、初年度は比較的に取り組みやすい内容だったことを踏まえると、二年目となる今年度は難化予想です。また、平成二十九・三十年の二回実施された試行調査で見られた、新たな

出題形式の問題はほぼ出題されていませんでしたので、今年度は注意が必要とも言われています。そもそも、共通テストは、予測不可能な時代を若者が生き抜いていく力をつけるためには、教育を大きく変える必要があるとのことで導入されたものです。その「生き抜いていく力」を育むために必要な学力が

- ① 基礎的な知識・技能
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力
- ③ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

の「学力の三要素」と言われているものです。従来のセンター試験では、主に①の「基礎的な知識・技能」を重視してきましたが、見通しのきかない時代を生き抜いていくためには、②や③を重視せざるをえなくなつたのです。特に、大学入試改革の理念を最も明確に打ち出しているのが、③の「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」です。共通テストが導入された経緯を理解すると、多くの科目で、複数の文章や資料を組み合わせて思考する問題や多面的・多角的な視点からの解釈、目的や場面に応じた表現力が求められることも理解できるのではないのでしょうか。ただし、注意してほしいことは、決して基礎的な知識・技能の習得をおろそかにしてもよいということではないことです。確かな学力を身に付けてこそ、思考力や判断力、表現力が発揮でき、主体性をもって学ぶことができるのです。

一・二年生の皆さんは、時間的に余裕がある冬季休業中に、ぜひ「何を学ぶために大学に進学するのか」を考えてみてください。現在、進路目標を実現するために、どのような勉強や活動をしているのかを振り返ってみましょう。三年生になったときに、自分の言葉でその成果をまとめることができるようにしてほしいです。そして自分の進路希望について、保護者と十分話し合ってください。

三年生の皆さんは猛勉強に励むとともに、今後の感染状況に

よっては、急な変更等も考えられますので、「何があっても臨機応変に対応できる」ような万全な準備をしておきましょう。受験では様々な「想定外」を想定しておく必要があります。念には念を入れ、最新の情報収集をぜひ心掛けてください。

最後になりましたが、入試直前期は心と体の健康を保つことが第一です。今年度も新型コロナウイルスエンザの同時流行が懸念されています。先が見通せない中での受験となりますが、マスクの着用、手指の消毒、うがいの徹底などの基本的な感染対策をしっかりと行い、最後まで諦めずに頑張ってください。三年生の皆さんのご健闘を心より応援しています。



### 令和3年度 後期生徒会執行部役員

役職	氏名	学年・ホーム
生徒会長	津野 杉河	2-1 H
副会長	渡邊 哉太	2-3 H
文化部長	眞鍋 芽衣	2-3 H
体育部長	藤田 天晴	2-3 H
体育副部長	石川 雅裕	2-3 H
交流推進部長	谷岡 奈緒	2-1 H
交通自治部長	鍋島 渚	1-3 H
保健美化部長	丁野 琉哉	2-3 H
広報伝達部長	山下 凉禾	1-3 H
会計部長	吉岡 莉緒	2-7 H
書記	山中 志希	1-3 H
会計監査委員長	弘光 美里	2-4 H

**令和3年度 後期生徒会執行部役員決定!**

十一月十一日(木)、令和3年度後期生徒会役員執行部の立候補者による演説を各クラスでビデオ視聴したのち、全校生徒による投票を行い、役員が決定されました。副会長以外の役員は信任投票を行いました。副会長には三名の立候補者があつたため、決選投票となりました。



**生徒会長コメント**

生徒会長を務めさせていただくことになりました。津野杉河です。信任されたからには、やるべきことをこなし、やれること、やっていきます。目安箱の設置をし、生徒や先生の意見を尊重することで、皆が楽しく過ごしやすい学校にしていきたいです。前期生徒会長のバトンを引き継ぎ、執行部役員と共に頑張りたいです。

行事予定	
1月11日(火)	始業式
1月15日(土)・16日(日)	一・二年生課題テスト
1月31日(月)・2月4日(金)	大学入学共通テスト
2月4日(金)	二年生修学旅行
2月8日(火)	一年生錬歩会
2月28日(月)	第三回実力テスト
3月1日(火)	卒業式準備・予行
3月2日(水)・7日(月)	卒業式
3月11日(金)・18日(金)	学年末試験
3月18日(金)	一・二年生特別時間割授業
3月18日(金)	終業式

県内国公立大学 総合型選抜・学校推薦型選抜 合格状況	
高知大学	7名
高知県立大学	4名
高知工科大学	12名



**編集後記**

今号では若鳩祭(文化祭)の様子を中心に掲載しました。高知県の警戒レベルが「非常事態」になってしまったからには様々な行事が中止になりました。そんな中でも、文化祭は行うことができたため、日々頑張っている生徒たちへの励みになったのではないかと思います。

二期も保護者の方々をはじめ、関係する皆様のご協力のもと、無事に終えることができました。追い込みの時期に入っていますが、くれぐれも健康にご留意のうえ、有意義な冬休みをお過ごしください。今後とも、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

\*若鳩はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kochinet.ac/ozu-h/>